

山の自然保護を考えるつどい

山の魅力や自然の大切さを学ぶ

— 尾瀬と栗駒山の自然保護活動の取り組み —



初夏の尾瀬ヶ原



水芭蕉の花

無料

開催日 平成28年2月12日(金)

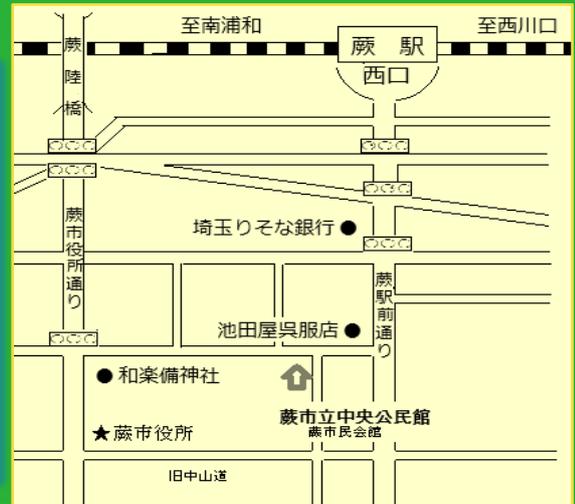
開催時間 午後7時～9時

開催場所 蕨市立中央公民館



指導者 元日本山岳協会自然保護委員長 長谷川 茂 氏
埼玉県山岳連盟個人会員委員長

初夏の湿原に水芭蕉咲く尾瀬ヶ原は、自然のままの姿に魅かれて多くの登山者が訪れています。また、東北地方のほぼ中央部にある栗駒山はブナの原生林や世界谷地などの湿原が広がり、山頂付近には150種に及ぶ高山植物が群生し、多くの登山者が訪れています。しかし、これらの尾瀬ヶ原や栗駒山の自然を10年後20年後も残すことは出来るのでしょうか？現在、入山者のオーバーユースによる、し尿処理問題、登山道わきの植生の踏み付けにより、固有種の衰退が徐々に進んでいます。また、全国的にシカが増えたことにより、湿原や高山植物の浸食も進んでいます。このつどいで、実際に自然保護に取り組んできた長谷川氏が、取り組みの実践報告をし、山の環境保全や自然保護の必要性について学び合います。



申し込み・問い合わせ 2月10日(水)までに 蕨市立中央公民館へ ☎ 048-432-2530

共催 蕨市山岳連盟 蕨市立中央公民館
後援 埼玉県山岳連盟 蕨市体育協会